

2.3. 各種内部委員会

設置率が高い委員会は「普及」と「審判」であり、7割以上の団体が設置している。次いで「競技力向上」「広報」「指導者」「財務」「医科学」「ドーピング」の委員会は半数以上の団体が設置している。しかし、「女性」に関する内部委員会が設置されている団体は、20.3%に過ぎない。「男性委員会」を設置している団体は皆無であることから、女性委員会を設置している団体においては、少なくとも女性競技者について専門的に検討する何かしらの課題が存在することがうかがえる。残りの8割近くの団体は、男性競技種目が大半であったり、あるいはすでに問題が解決済みとの可能性もあるが、その一方で問題自身が顕在化していないことなども考えられる。今後は必要な団体には女性委員会の設置を促すことが課題といえる。

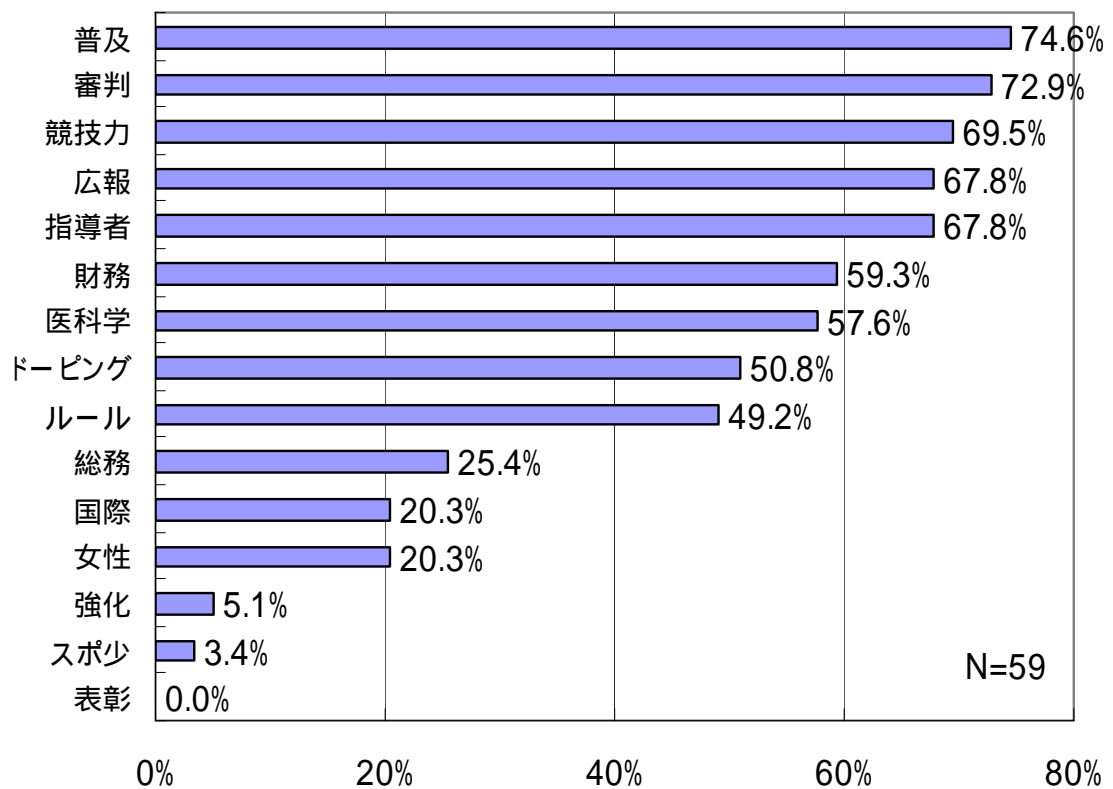


図3：競技団体の各種内部委員会の設置率